

群馬銀行グループの価値創造プロセス

●群馬銀行は、地域の総合金融グループとして、さまざまな経営資源を活用して事業を推進し、地域のお客さま、株主・投資家、従業員、地域社会など、各ステークホルダーの皆さまへ価値を提供することにより、持続可能な社会の実現と経済的価値の創造に努めるとともに、SDGsの達成に貢献します。

●創造される価値は、当行グループが活用する資本を増強し、当行グループの企業価値を高め、さらなる価値の創造へと繋がります。

活用する資本

財務資本

- 健全な財務ポートフォリオ
- 充実した自己資本…連結11.95% (2020年3月末)

人的資本

- 連結従業員 3,159人 ●高い能力と強力な組織力
- 広範な専門人材
中小企業診断士37名、証券アナリスト54名、FP1級123名など (2020年3月末)
- 個性豊かな企業風土

知的資本

- 長い経験と実績が支える知見や制度(仕組み)
- 優れた情報力と提案力
ソリューション提案件数 12,211件(全取引先数比41.4%:2018年度)
- フィンテック等を含む多様な金融手法への対応力
フィンクロス・デジタルの取組み

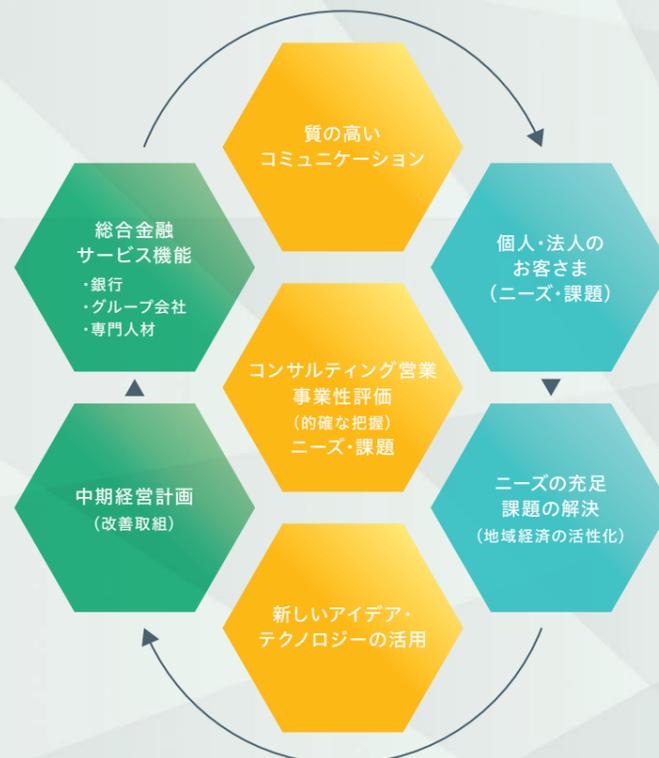
地域社会・関係資本

- 顧客との良好なリレーション
ぐんぎん経営倶楽部会員数 13,212名(2020年3月末)
- 強靱なネットワーク
店舗数…国内157、海外1
- 圧倒的な営業基盤
(高い預貸金シェア)群馬県内 貸出金35.9%、預金34.7% (2019年3月末)
(高いメイン先割合)メイン先数18,944先(全取引先数比55.5%:2018年度)
- 企業好立地の営業エリア
首都圏から1時間圏内
立地件数全国4位、立地面積全国4位(2019年通期工場立地動向調査)
- 技術力の高い企業の集積
製造品出荷額等 9兆0,880億円 (2018年:全国13位)、うち輸送機器38.8%

自然資本

- 恵まれた自然環境
年間快晴日数46日(全国2位)2016年総務省統計局
- 災害の少ない地域環境
震度4以上の地震回数(1919年~2020年:気象庁震度DB)
群馬66回、東京564回、千葉、222回、神奈川113回、埼玉155回
栃木225回、茨城367回

群馬銀行グループのビジネスモデル



ビジネスモデルを支える強固な経営基盤

- コーポレートガバナンス
- リスク管理
- コンプライアンス

外部環境(社会的課題)

- SDGsへの取組み(持続可能社会の構築)
- 少子高齢化
- 女性・高齢者への活躍期待の高まり
- 働き方改革
- デジタル化の進展
- 景気拡大ペースの鈍化
- マイナス金利政策の長期化
- 資産運用手法、資金調達手法の多様化
- 相続や事業承継ニーズの高まり など

提供する商品



持続可能な社会の実現に向けた取組みは、
企業価値を高め、更なる価値の創造へ

共通価値の創造

群馬銀行グループ(めざす姿) 金融サービスの革新により、お客さまニーズに応え、価値を実現する地域金融グループ



お客さま

- 多様なニーズに応じた金融サービス
- 事業承継など、経営課題の克服
- ライフステージに応じた資産形成



株主・投資家

- 株主価値の中長期的な最大化



従業員

- 多様な人材の活躍促進
- 活躍に向けた人材育成、柔軟な働き方の実現
- 働きがいのある企業風土



環境・地域社会

- 地球環境の保全と創造
- 地域経済の持続的発展
- パートナーシップの推進

Creation of the value